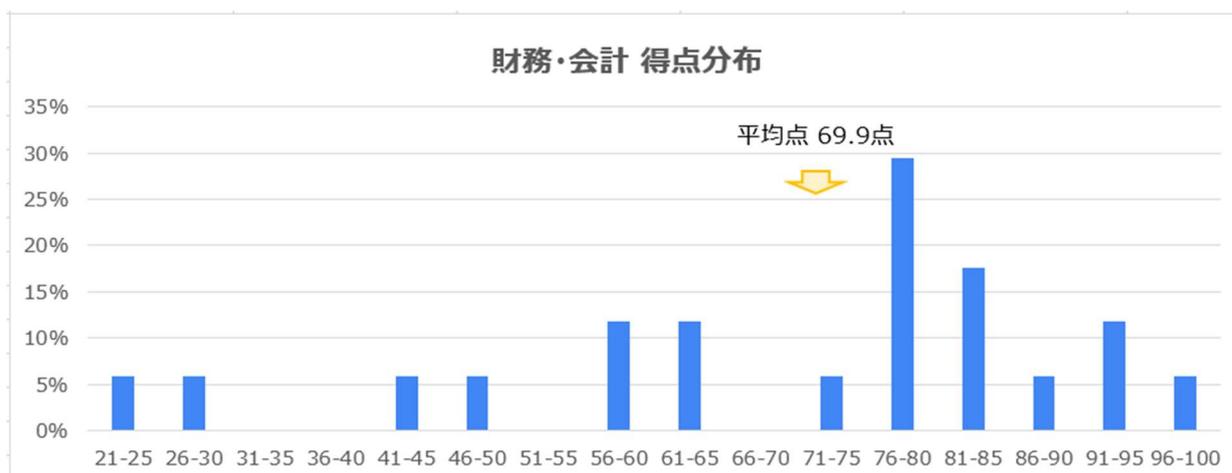


一発合格まとめシート チェックテストマラソン 2023 データ&総評

<財務・会計>

1. データ

平均点 : 69.9 点



2. 正答率の低かった問題と復習のポイント

問題番号	正答率	コメント
第 20 問	38%	原価の基本的な内容に関する問題です。原価計算自体は 1 次試験が中心の論点になりますが、2 次試験のプロダクトミックスなどでは固定費、変動費など原価計算の基本的なポイントが理解が前提となりますので、1 次試験までには覚えるようにしましょう。
第 23 問	43%	のれんに関する問題は 1 次試験で 3-4 年に 1 回程度で出題されており、1 次試験がメインの論点ですが 2 次試験でも出題実績があります。公式を覚えれば解ける問題ですので、何度も手を動かして解けるようにしておきましょう。
第 24 問	43%	税効果会計は会計規則の中でも複雑且つ暗記色の強い論点ですので、あまり深入りせずに試験 2 ヶ月前を目途にまとめシートで扱っている基本的な箇所を覚えるようにしましょう。

3. 総評

第 2 回目の財務・会計のテスト参加、お疲れ様でした。財務・会計は学習経験により差が出やすい科目です。

今回のチェックテストでも、平均点は 69.9 点でしたが、参加者の得点にはバラつきが見られました。学習の進捗度により得点戦略も変わってきますので、テストの復習をした後に今後の学習計画の方針を立て直してみるのもよいでしょう。YouTube でも詳しくご紹介しています。[\(タイプ別！財務・会計の攻略法 第 153 回\)](#)

<会計分野> 会計規則以外については、全体的な正答率は高く、特に財務諸表や損益分岐点に関する基本的な論点を押さえられていました。会計規則については、試験の得点につながりにくい分野ですのであまり深入りすぎずに得点源になる財務分析や損益分岐点の問題に注力するようにしましょう。

<財務分野> 会計分野と比較するとやや正答率が落ちました。このうち、企業価値の算定などは理解+計算が必要になるので早めに対策する必要がありますが、一方でデリバティブなど暗記色が強いものも多いので、試験の 3 か月前程度を目安に本格的に覚えていくと良いでしょう。

＜参考資料＞

問題ごとの正答率

問題番号	正答率
1	9
2	9
3	7
4	8
5	6
6	8
7	7
8	7
9	9
10	8
11	8
12	8
13	5
14	6
15	9
16	8
17	6
18	5
19	5
20	3
21	5
22	5
23	4
24	4
25	6

※正答率の表記について

0～10%台	1
20%台	2
⋮	
90%以上	9